

# 2018年10月のIMF世界経済見通し -世界経済成長率見通しを下方修正-

## ポイント① 新興国中心に成長率見通しを下方修正

10月9日発表のIMF（国際通貨基金）の世界経済見通しによれば、世界経済成長率は2017年の3.7%から、2018～2020年には概ね横ばいに推移すると予想されています。2018年7月発表の前回見通しと比べて2018、19年の世界経済成長率見通しは下方修正されました。特に新興・発展途上国の成長率の見通しの下方修正が相対的にやや大きくなりました。

## ポイント② 貿易摩擦による貿易量の鈍化の懸念

こうした新興・発展途上国を中心にした世界経済成長率見通しの下方修正の背景には、米国での段階的利上げと貿易摩擦懸念の高まりがあると見られます。

米国経済に関しては、財政刺激策の効果もあって利上げにもかかわらず2018年は堅調な経済成長が見込まれていますが、2019年以降は成長の減速が予想されています。一方、新興・発展途上国では米国の利上げで自国通貨が米ドルに対して下落したことなどから、インフレ率の上昇が予想されています。インフレや通貨の下落を抑制するために金融引締めを迫られる国が増えたことが、経済成長率の下方修正の一因になっているようです。

また、貿易摩擦の高まりを反映して世界貿易量増加率の予想値がやや大きく下方修正されています。輸出量の伸びは先進国、新興・発展途上国とも下方修正されていますが、新興・発展途上国経済の方が景気が輸出に左右されやすい傾向があるようです。

## ポイント③ 中期的には新興国主導の成長を見込む

このように、今年から来年にかけては、IMFは新興・発展途上国の景気に対してこれまでよりも慎重に見ていることがうかがわれます。

しかし、従来通り中期的には世界経済は新興・発展途上国を主導役にして成長する姿を描いています。図3が示すように、先進国では2019年以降、経済成長率が1%台半ばへと向かって徐々に減速することが想定されています。一方、新興・発展途上国の経済成長率は、2018、19年に比べて2020年以降は若干高まり、5%近い水準で推移することが見込まれています。

重要  
イベント

10月19日 中国 7-9月期GDP  
10月26日 米国 7-9月期GDP(速報値)  
10月30日 ユーロ圏 7-9月期GDP(速報値)

図1：国・地域別経済成長率見通し

	前年比、%		
	2017	2018	2019
世界	3.7	3.7 (-0.2)	3.7 (-0.2)
先進国	2.3	2.4 (0.0)	2.1 (-0.1)
米国	2.2	2.9 (0.0)	2.5 (-0.2)
ユーロ圏	2.4	2.0 (-0.2)	1.9 (0.0)
日本	1.7	1.1 (0.1)	0.9 (0.0)
新興・発展途上国	4.7	4.7 (-0.2)	4.7 (-0.4)
中国	6.9	6.6 (0.0)	6.2 (-0.2)
インド	6.7	7.3 (0.0)	7.4 (-0.1)

図2：貿易量と消費者物価指数の見通し

	前年比、%		
	2017	2018	2019
世界貿易量	5.2	4.2 (-0.6)	4.0 (-0.5)
輸出量			
先進国	4.4	3.4 (-0.8)	3.1 (-0.6)
新興・発展途上国	6.9	4.7 (-0.6)	4.8 (-0.3)
消費者物価			
先進国	1.7	2.0 (-0.2)	1.9 (-0.3)
新興・発展途上国	4.3	5.0 (0.3)	5.2 (0.7)

図1、図2

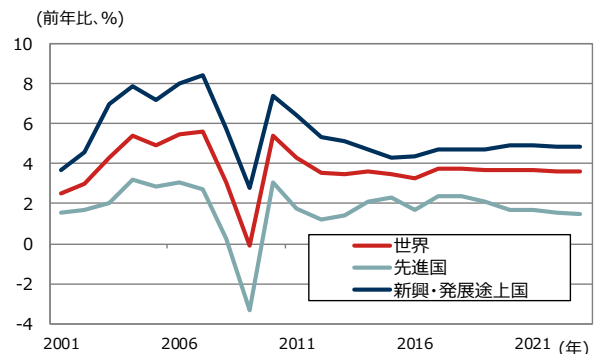
(注)2018年以降はIMFによる見通し

(注)( )内は7月時点見通しからの修正幅

(出所)IMFデータより野村アセットマネジメント作成

図3：世界、先進国、新興・発展途上国の経済成長率

期間：2001年～2023年、年次



(注)2018年以降はIMFによる見通し

(出所)IMFデータより野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目録見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。